

向陽信和(株)

土岐市・建設業

従業員数／男性33名 女性9名 計42名 ※令和4年11月現在

エクセレント
POINT

- ①子育て・介護に優しい柔軟な勤務形態の導入
- ②充実した福利厚生と休みやすい環境づくり
- ③女性の活躍の場を広げる職場づくり



女性唯一の現場技術者として、子連れ出勤をしながら働く
山岸朋香さん。

向陽信和は働き方改革に関する社内研修などを行い、年次有給休暇取得率が倍増。また19時退社などにも取り組み、月平均時間外労働時間が、2012年度の62時間から21年度は11・25時間まで減少した。さらには、課題としていた休日出勤の抑制に取り組むため、休日出勤をしなくても日給の7割を休日分の給料として上乗せする制度を導入し、できるだけ平日に仕事

事を終えるよう促している。その結果、休日出勤が減り、週末を家族と過ごせる社員が増えた。また、社員の家族にも会社との親しみを深めてもらうため、忘年会や社員旅行、夏祭りなどの会社行事に家族同伴で参加してもらっている。

子連れ出勤が社内風土として根付いており、学校が長期休暇の場合などは、社内が多くの子どもたちでにぎわう。子どもの体調不良、学校行事への参加などに合わせて短時間勤務も可能で、育休取得者が安心して職場に復帰できる環境を整備した結果、子育て世代の女性パート社員2人の採用にもつながった。

さらに結婚祝金、出産祝金、住宅

購入金のほか、誕生日祝いとして品券を支給。インフルエンザ予防接種費用の補助も行うなど、充実した福利厚生制度が整っている。

現在、女性唯一の現場技術者として、子育てをしながら働く山岸朋香さんは「やりがいのある仕事をさせてもらっている。子連れ出勤しながら働けるのも助かる」と感謝。今後は、現場サポート事務、営業サポート事務の分野で女性採用を促進すると共に、多様な働き方を望む人材の確保にも力を入れていく。



長期休暇中の子連れ出勤時の様子。お手伝いや宿題をしながら過ごし、社内がとてもにぎやかに。



今年は3年ぶりに夏祭りを実施。社員の家族も参加し楽しい1日となった。夏祭り恒例のもち投げは大盛り上がり。

社員の家族に親しみのある職場へ